



■第44回川越市成人式	2
■戦没者の妻・父母などの特別給付金	5
■表通り裏通り 菊作りは、忍耐、根気、思いやり。	10

1992(平成4年) 川越市 市制施行70周年

未来をつくる緑と文化 かわごえ70



【わたしたちのまち】

人口 307,871人 前月比+230人

■男 155,883人 ■女 151,988人

●出生 272人 ●死 亡 121人

●転入等 1,303人 ●転出等 1,224人

世帯数 102,738世帯 前月比+184世帯

平成4年11月1日現在 (在住外国人を含む)

市役所土曜閉庁のお知らせ 12月は、12日(第2土曜日)と26日(第4土曜日)が休みです。

*戸籍関係(出生・死亡・婚姻など)の届け出は、本庁舎地下1階の当宿室で受け付けています。

向学心を応援します

母子・父子家庭のお子さんへ

母子・父子家庭のお子さん
に差し上げます

修学資金と就学支度資金
母子家庭のお子さんを対象に、
修学資金(授業料の一部)と就学
支度資金(入学準備金)を無利子
でお貸しします。

支給金額(一人につき) : 小学校
入学 = 一万二千円 ▼ 中学校入学
= 一万八千円

対象: 平成四年度の市民税が非課
税で、生活保護を受けていない
母子・父子家庭

申請方法: 十二月二十八日(月)まで
に印鑑、預金通帳、年金証書ま
たは児童扶養手当証書(母子家
庭のみ)を、福祉課児童福祉係
へお持ちください。

※申請最終日以降に母子・父子家
庭になつた場合は、来年三月末日
まで受け付けます。

母子家庭のお子さんにお
貸しします

申請方法: 十二月二十八日(月)まで
に印鑑、預金通帳、年金証書ま
たは児童扶養手当証書(母子家
庭のみ)を、福祉課児童福祉係
へお持ちください。

※申請最終日以降に母子・父子家
庭になつた場合は、来年三月末日
まで受け付けます。

母子家庭のお子さんにお
貸しします

国の教育ローン

高校、短大、大学、専修学校、
各種学校などに入学、在学されて
いる方の保護者が本人が対象の「国
の教育ローン」。融資限度額は、
生徒、学生一人につき百五十万円

月一日において遺族年金等の受給
権を有している方▼時効により①
②を未受給の方

です。

返済期間: 高校、短大、専修学校、
各種学校など=五年以内 ▼ 大学、
高等専門学校など=六年以内

貸付期間の2~3倍

卒業後6か月

5年以内

卒業後6か月

5年以内

※小・中学校就学支度資金は、所得税非課税世帯

に限ります。

※他の貸付制度と重複しては利用できません。

貸付限度額・償還期間

区分	貸付限度額(円)		償期	償間
	高校	大学		
修学資金	公立 月額 12,000		卒業後6か月	
	私立 月額 24,000			
	公立 月額 32,000			
	私立 月額 41,000			
	高等 月額 24,000			
	専門 月額 40,000			
就学支度資金	一般 月額 23,000			
	小学校 35,900			
	中学校 41,600			
	高校 公立 65,000			
	私立 210,000			
	大学 350,000			

(内線2992)

提出書類: ①貸付申請書②借受資

格証明書③戸籍謄本④印鑑証明

書⑤所得証明書⑥合格通知書⑦

借用書⑧受験校別表(合格決定

前に申請される方)

※①②⑦⑧の用紙は、福祉課にあ

ります。

申込期間: 修学資金=随时 ▼ 就学

支度金=来年三月三十一日(水)まで

問い合わせ: 福祉課児童福祉係

(内線2992)

莉を越えて⑤

和教育シリーズ

私の自慢は

私のふるさと

たちの立ち上がりも、まず大切
です。でも、それまで差別をし
てきた人たち、他人ごとと考
えた人たち、そういう人たち
の正義感の中から起きたこの問
題の解決への情熱、信念、行
動力が、昭和時代の後半になって
やつてこの問題を国民的課題で
あり、日本人一人ひとりの責任
であると言われるまでに至らし
めたものと思います。この問題
の解決に、本当にしつかりとつ
ながっていくことではないでし
ょうか。

ドイツの有名な思想家である
エンゲルスは、歴史というもの
は我々一人ひとりの人間の手に
よつてつくられていくものだと
いうようなことを言つていたと
思います。まさにそのとおりだ
とあります。人間としての憤り
や叫びがなくては、なんの変革
ながしていくことではないです。
藤、お前は部落の者であろう。
部落出身か』そう言つたんです。
は、そのとき、その議員さんに
向かって『おお、そうだ。それ
がどうした』そく言つて迫つて
いたという、そのようなエピ
ソードをお聞きいたしました。
別教育の撤廃を叫んだ正樂先生
に対しても、ある議員さんは『安
藤、お前は部落の者であろう。
部落出身ではなかつた正樂先生
は、そのとき、その議員さんに
向かって『おお、そうだ。それ
がどうした』そく言つて迫つて
いたという、そのようなエピ
ソードをお聞きいたしました。
人間が人間を差別して然然と
して生きてきた日本の差別社会、
中には、そういう差別社会を超
えたというか、本当に人とし
てのすばらしい何ものかがあつ
たんだと思います。差別をなく
すためには差別を受けて来た人
も改革も生まれてこないんです。
愛媛県でも、この正樂先生の
ことが基になります。差別教
育撤廃の方針が出されるよう
になりました。今生きている私
たちは、本当にこの尊い先人の
なきつたことを決しておろそか
にしてはいけないと思います。
この話は、今から八十数年も前
のことです。みんなのまちで
はいかがでしようか。

(つづく)

散歩道

シリーズ88

中福、秋から冬へ [福原地区・中福]



中福は、福原地区で最も西に位置する畠作地帯。この辺りは昔はサツマイモ作りが盛んでしたが、今は葉物野菜に押され、すっかり少なくなっています。

秋色が濃いある日の午後、今もサツマイモ作りに情熱を燃やす松崎新一さん(77歳)のお宅

を訪ねました。お目当ては、今

から松崎さんが始めたサツマ

イモの水耕栽培。手作りの容器

のふたを開けて見せながら「土

の中と違い、根の先が培養液に

つかっているだけ。初めての経

験なのでうまくいかず不安だつ

たが、ここまで大きくなつてくれたよ」と松崎さん(表紙)。

松崎家を後に付近を歩くと、

地元の方が手入れをしているら

しいサルビアの花が道沿いに帶

のように咲いていました。鮮や

かな赤い色が印象的で

した(写真①)。

今、季節は秋から冬

へ足取りを早めています。

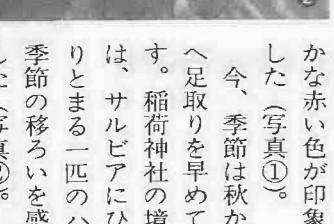
稻荷神社の境内で

は、サルビアにひつそ

りとまる一匹のハチに

季節の移ろいを感じま

した(写真②)。



菊作りの品評会「第二十四回埼玉県菊花展覧会」が、十一月六日(金)・七日(土)、川越市民体育館で開催。切り花や盆栽など、県内三百八十人からの過去最高九百七十五本の出品作が、訪れた人々の目を楽しませてくれました。ところで、会場の菊たちをやさしい眼差しで見つめていた方がいます。市制施行七十周年記念事業として開催されたこの展覧会を、実行委員会副委員長として支えてきた、小平桂さん(69歳・霞ヶ関東二)です。

桂さん(69歳・霞ヶ関東二)です。

十五部類の審査が終わった会場は、菊の香りに包まれています。

出品されている花は、直径二十七センチほどの大きさ、甲乙つけがたい作品たち。茎の延長線に花の中身があり、そこから整然と組み上げていく花びらの美しさなどが、審査員六十五人の評価基準とか。

また、当日の比較審査のため、開花を一番良い状態にもつてこなくてはならないそうです。

「川越菊花会員の菊を愛する心と協力が、私を支えてくれるんです」

小平桂さんは、川越菊花会の仲間たちとこの大会を支えてきた一人。十四年前、群馬県太田市で開かれた全日本菊花連盟全国大会に初出品した「盆栽」で、いきなり日本一に。以後、県内の大会で大臣賞を八回受賞。キャリア二十五年。現在、県内に五人しかいない全日本菊花連盟公認指導員と同審査員も務めています。

埼玉県菊花連盟副理事長、川越菊花会会長の肩書きを持っています。

また、自宅では「盆栽」「二十五、三十、「花壇」」、合わせて百株以

「菊作りは、水くれ三年と言つて、水の与え方が一番難しいんです」

天気によって、与える時間や量が量によって葉の付け方、開花発育状態などに影響します。また、

水が肥料を分解するため、その

左右されますからね。これだけは

花時期を早めるために光を遮断、

遅めるために電灯をつけるなどの工夫があるそうです。

それでも、「盆栽で約一年半、ほかは約半年ですぐに結果が見られるんだから」、苦労以上の喜びが得られますと語ります。

「菊作りの一一番の魅力は、手をかけた分だけ、こちらの期待に菊が応えてくれること。子育てと同じ

ように思いやり、忍耐、根気が大切。人間と同じようにかわいがつてやることが必要です」

最近では、菊作りを教育に取り入れる小・中学校も多くなりました。

「情操教育に菊を育てる『心』が役立つのは」と、小平さんも

六年間、新宿小学校で指導協力を

してきました。

菊を見つめる小平さん、お孫さ

んを見るようなやさしい目が、印象的でした。

「だれにでも菊作りはできます」と小平さん。川越菊花会

(会員百二十人)では、市民の方を対象に、毎年五月に講習会・苗分けを実施。また、

同会員には月一回の講習会、情報交換も行っています。詳

しくは、小平さん云々

31-18

31へ。



11月1日(日)~23日(祝)、喜多院の川越菊花大会に出品された小平さんの「盆栽」。



第24回埼玉県菊花展覧会から

菊作りは、忍耐、根気、思いやり。



はーどぶる ウルトララリークイズ大会 小江戸のまちをクイズで巡る

十一月一日(日)、勤労青少年ホール主催の第四回ウルトララリークイズ大会が開催。この七十周年記念大会には、小学生や親子、職場などから集まった百二チームが参加。約四百人の出場者たちは、小江戸の街・約十キロを歩き、心地

「がんばるゾ」。スタート地点の様子。
チェックポイントの1つ。

まちのできごと
トーキング
川越市の面積は109.18km²

109パレット

産業が集合「さんばく'92」

市内の産業を結集した産業博覧会が、10月31日(土)・11月1日(日)、埼玉中央卸商団地内で開催。「未来の広場」「ぶんかの広場」など4会場で、工業製品の展示、野菜の即売、チャリティーオークション、歌手・島崎和歌子さんのコンサートなどが。訪れた約235,000人が、業種間交流、人とふれあいを楽しみました。



環境問題を焼却灰から語る

他市との焼却灰比較や焼却灰利用のリサイクル品を紹介する「リ灰クル博覧会」が、市内のデパート店頭で開催。リサイクルワールド(代表=鈴木淑子さん・57歳・岸町1)が「地球環境は、まずゴミから考えよう」とPR。今後も、「なんでも物を捨てればよい」の考え方を「物に感謝する心」に、と訴えています。



健康への1ステップとして

健康への意識を高め、自己管理する生活習慣を身につけてもらおうと、11月8日(日)、市民会館で開かれた「健康まつり」。訪れた約5,000人が体力測定、コンピュータ診断、フットサッカーボード、ハリ治療などを体験。データやアドバイスを参考に、「楽しみながら運動する習慣をつけたいね」と子ども連れのご夫婦。



東北4大祭り

鈴木しよ子さん(59歳・砂)
川越市農協古谷支店婦人部主催の旅行で、東北4大祭りに行ってきました。

8月4日の夜6時ごろから、桟敷席で「ねぶた祭り」を見学。跳人のラッセラー、ラッセラーのかけ声と笛や太鼓が響き、織田信長や孫悟空、一寸法師などをかたどった20数台の大型ねぶたが、豪華さと勇壮さを青森の空に競いました。その大迫力の光景は、目を見張るすばらしいものでした。

翌5日は、十和田湖遊観。遠く周囲を彩る山々に囲まれた眺めは、なんとも言えない神秘的なものでした。寒風山では、お天気が良く、遠くの方まで見晴らせました。生ハゲさんとの記念写真がよく撮されました。モデル代は、3回写して500円。生ハゲさんは腰かけてるだけで、後から後から大繁盛。そして、夜は秋田の竿燈祭り。大きな太い竿にちようちん60個をつけて、まるで軽業師のようにおでこに立てたり、肩とか腰に立てたり。竿が曲がってとても重そうでした。

6日は、後から後から踊りの列が続く山形の花笠祭り。7日は、仙台の七夕祭りを見学。今はどこに行つても道路がよく、疲れ知らずの楽しい東北の旅でした。

イラストコーナー



岡村菜保子さん
(15歳・旭町三)

ふるやまとを刻む

20

平地林に囲まれた明見院(今福)



本川越から新所沢
行きのバスに乗つて
南へまっすぐ行くと、
今福、中福と福のつ
く地名に出会います。

あちこちに武藏野の
面影を残す雜木林や、
ゆつたりした野菜畑
が広がっています。

いかにもおいしそ
うな土、豊かな大地
の恵みが福を運んで
地名になったのも納
得。

バス停「今福山田」、
または、今福・中台
行きは終点で下車。
少し歩くと明見院が
あります。

明見院は、一六七七年、高関の創建。江戸末期、慶応年間に大僧正高学が、本堂と庫裏を使って寺子屋を開校、明治の学制発布まで続き、現在の福原小学校の基になったそうです。

門を入れると、葉を落とした大木のしだれ桜が、枝をいっぱいおじぎしている
ように下げて、迎えてくれました。昔は中院の末寺で、有名な中院のしだれ桜
と姉妹関係にあるそうです。
少し高くなつた寺の裏は、菅原神社で、かわいい対の猿の庚申塚もあります。

版画と文 松平 静江さん

編集日記

市内の交通規則が見直され、11月17日から実施されています。自宅の周辺でも、現在一方通行の区間がさらに大型通行禁止に改められたり、新たに駐車禁止の指定がされました▶今月の日曜日、目にした渋滞は、かなりのもの。大宮方面に向かう車が、喜多院近くの交差点からバイパスまで延々と連なっていました。今回の規制の見直しは、交通事故の防止や交通渋滞の緩和などを図るため。師走に向い渋滞は……。効果が期待されます。ご協力と安全運転をお願いします。

■発行／平成4年11月25日(毎月10日・25日発行)

■編集／川越市広報課(埼玉県川越市元町一-三一-二〇四九二一)

24

八八一内線433

■発行人／川越市長

川合喜一

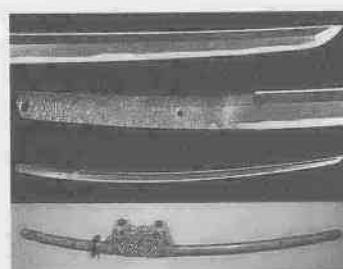
■印刷

株オーケー印刷

TV

わが街川越 番組ガイド

38ch テレビ埼玉 毎週火曜日 午後5時30分～5時40分 再午後10時15分～10時25分
■一部変更になることがあります。あらかじめご了承ください。



徳川將軍献上太刀 銘 國資

12.1

TUESDAY

名刀展

川越市立博物館の第6回企画展「名刀展」(11月25日～12月20日)へご案内。川越にゆかりの深い刀剣、甲冑、刀装具、歴史資料などを集めた展示の様子、日本の工芸技術の粋ともいえる刀剣の美をご紹介していきます。

12.8

TUESDAY

市制施行70周年記念式典

市制施行70周年を迎えた川越市は、12月1日㈫の市民の日に「記念式典」を実施。番組では、市民会館で行われる式典の様子と、初雁文化賞、初雁賞の受賞者のプロフィール、横顔などを紹介します。

12.15

TUESDAY

まちづくり論文から 夢のある街

市制施行70周年を記念して「21世紀の川越(まち)を描く」をテーマに、県民から公募した「まちづくり論文」の入賞作品を紹介します。未来の川越は、どんな「夢のある街」に変身しているのでしょうか。お楽しみに。